

寺だより

スジャー夕

43

平成20年(2008)

7月10日発行

「スジャー夕とは、6年間の苦行に疲れたお釈迦様に牛乳で作ったお粥を供養したインドの女性の名前である」

法然共住

平成23年は法然上人の800年大遠忌です

浄土宗平和協会声明文

「チベットに平和を」

宮原高校テニス部
必勝祈願!!



美作誕生寺門前 (67×135cm) 住職画

[住職のつぶやき]

物を買うより、
人を買う。



[住職のつぶやき]

物を買うより、 人を買う。

住職／山縣 正紀



(1)

人を買う、とは少々物騒な言い方であるが、同じ品物を買うなら感じの良い人から買いたいと思う。買うつもりだったのに応対してくれた人の態度がいやで止めた、という経験は皆さんにもあるだろう。ただ客の好みも千差万別で、これは売り手側としても悩ましい問題だと思う。

一般的には、しつこく付きまとう店員さんは嫌われる。次から次へと商品の説明を押しつけられると、自由に見られなくて店を出てしまうこともある。自分の好みでゆっくり選びたいのに、セールストークが全面に出過ぎると少々嫌になるからだ。

店の人に声をかけられた時、「少し見せてください」と言うと、「分かりました。説明が必要な時には声をかけてください」というような応対が出来る人に、私は好感を感じる。

(2)

少し値の張る買い物をする時には、商品の善し悪しは当然だが、

「この人なら買おう」

とか、

「この人から買おう」

と思うことがある。まさに人を買っている瞬間である。

客にそう感じさせるのは

一体ナンだろうか？ 身だしなみや接客態度は無論、その人の持っている雰囲気、人柄、誠意などではないだろうか。ただ、それらに基準はない。マニュアルもない。その人の「生き方」や「考え方」の中から滲み出るので、そう簡単に身につくものではないだろう。

しかし、私たちは短時間のうちにそれを感じ取っている。人間の凄さであり、難しさであり、また怖さでもある。それは買い物の時だけでなく、すべての人間関係の中で言えることだ。じゃあ、自分自身はどうか？ そんな人柄になっているだろうか？

(3)

春に引退した元ジャイアンツの桑田真澄投手は、「自分にとって野球とは砥石、自分を磨いてくれるものである」と語っていた。彼にとって野球は、富みや名声をつかむだけの手段ではなかった。テレビで見る謙虚で穏やかそうな人柄は、野球（ケガやマスコミなども含めて）に磨かれて人間として向上してきた結果なのだと感じた。

我々も同じことである。自分の仕事や日々の務めを、自分を磨いてくれる砥石であると受け止めよう。まだまだ磨き足りない自分自身に恥じるばかりだが、仏教という素晴らしい砥石をこれからもより所として、毎日の生活に精通して行こうと思う。

浄土宗平和協会声明文

「チベットに平和を」

平和と共生を追求する浄土宗平和協会は、浄土宗唯一の平和団体として、チベット仏教の聖地であるラサ市をはじめ中国各地において、僧侶・市民と治安部隊の衝突により多くの死傷者が出ている深刻な事態に対し、深い憂慮を表明します。この衝突によって命を喪い、また傷ついた人々に対し、悲しみを同じくしております。非暴力を標榜する浄土宗は、いかなる理由があろうとも武力をもって問題の解決をはかることを否定します。私たちは、チベットの人々の苦しみに深い思いをはせております。

有史以来、人類は数多くの争いを繰り返してきました。そして、そこでは多くの人々の「いのち」が奪われ、傷つけられるとともに、遺族たちの悲しみと憎しみを生み出してきました。武力で平和は築けません。武力は怨みを生じ、果てしない報復の連鎖を生み出します。

仏教の祖、釈尊は「人はすべて暴力におびえる。すべての者にとって生命は愛しい。わが身にひきあてて殺してはならない。殺させ

てはならない」と教えています。チベットの人々は敬虔な仏教徒であり、仏教に帰依しております。その人々に対し、暴力によって問題の解決が図られたことに、私たちはただただ驚くとともに深い憂いを覚えずにはいません。

日本政府におかれましても関係諸機関とはかり解決への努力を続けられることを念願するものであります。

私たち浄土宗の僧侶、信徒は、暴力のない、人間同士が信じ合い、愛し合い、助け合う共生の世界が一日も早く来るように望んでやみません。

合掌

2008年3月24日
浄土宗平和協会



お盆の行事

どうぞお参り下さい

お盆をむかえる

たな ぎょう ほう よう
棚経法要

7月20日(日)

■ 朝9時から11時まで

同封の水色の回向袋えこうぶくろに棚経回向ご希望の戒名をご記入の上、当日ご持参下されば回向した後、「棚経回向之證」をお渡しいたします。それぞれの家庭の仏壇に祀って、お盆をお迎え下さい。

感謝の気持ちで

せ が き え
施餓鬼会

8月15日(金)

■ 朝9時から11時まで

同封の黄色の回向袋に塔婆回向ご希望の戒名のご記入して、当日ご持参下さい。塔婆に書きかえてご回向致します。

初盆を迎える方 7月15日までにご連絡下さい

- 市内で特に希望される家にはお参り致します。
また、正覚寺で行うことも出来ます。
- ご希望の方は7月15日までにご連絡下さい。
その後、お参りする日時を決めて、お知らせ致します。
- 棚経法要(7 / 20)、施餓鬼会(8 / 15)の回向袋には「初盆」と書いてお参り下さい。



昨年の回向之證はどうする?

- 昨年の「棚経回向之證」がまだ仏壇にある方は、当日ご持参下さい。
- 後日まとめて浄火供養(焼却)いたします。

駐車場について

例年のように確保できるか、直前にならないと分かりませんが、総代、青年会の方々が炎天下にボランティアで係をさせていただきます。恐れ入りますがその指示に従って下さい。

5月23日(金)

宮原高校 テニス部 必勝祈願

県総体を前にして、男女部員60数人が正覚寺へ参拝し健康と必勝を祈願した。その後、両親の恩、世の中のおかげ、そして人生(テニスの試合)に勝つ方法まで、住職の45分間に渉る法話を熱心に聞いてくれました。



6月1日(日)

大掃除が すみました。

以前は盆前にしていたが、近年の極暑のため数年前から6月にしています。今年も有志の方が多数奉仕して下さり有難うございました。



■ 秋の法要ご案内

あき ひ がん え
秋彼岸会

9月21日(日)

■朝 10 時より

じゅう や ほう よう えい たい きょう く よう
十夜法要・永代経供養

11月16日(日)

■朝 10 時より



■ 5年ぶりの短期集中仏教講座

ご じゅう そう でん
五重相伝

■どうぞご参加ください

すでに案内状をお送りしています。
詳しくは寺までお問い合わせ下さい。

あ と が き

- ミャンマーでのサイクロン、中国や日本での大地震、その惨状をニュースなどで見るたび、大自然の驚異的な力に畏敬の念を、そして人間の微弱さ愚かさを痛感します。
- 環境、食料、エネルギー、その他、山積している問題のために我々人類は智慧や経済力を結集するべきだ。地域間紛争や戦争をしている場合ではない。
- 今年の広島教区詠唱大会は、6月2日(月)三原リージョンプラザで行われました。
- 前々から考えていたことですが、この「寺だよりスジャータ」もいよいよカラー化しました。出来映えはいかがでしょうか。
- 盆施餓鬼会(8月15日)にお参りの方に差し上げている^{うちわ}団扇も、今年は多色刷りにしていますのでお楽しみに。
- 住職が趣味で描いている絵のグループ展を今年も開催します。10月10日(金)から3日間、呉市文化ホール 2階展示室。いつものようにギターを生演奏と茶菓のサービスつき、もちろん入場無料です。どうぞお気軽にお立ち寄り下さい。



発行所 / 〒737-0033 呉市寺本町 2-1 浄土宗 正覚寺

でんわ / 0823-21-6086 Eメール / shoukaku@orange.ocn.ne.jp

FAX / 0823-22-9922 郵便振替 / 01300-5-13754